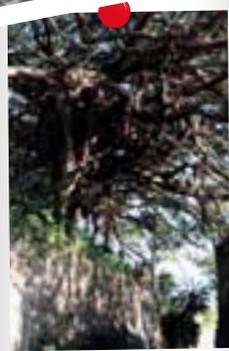




かごしま
まち
デザイン賞

第2回



知事挨拶



鹿児島県知事
伊藤 祐一郎

本県は、南北約600キロメートルに及ぶ広大な県土の中で、桜島や錦江湾、奄美の島々などの雄大で美しい自然、知覧・出水等の武家屋敷群に見られる地域固有の歴史や文化、人々の暮らしが織り成す、多彩で豊かな景観が育まれてきました。

このような景観は、私たちの暮らしに潤いや活力を与え、郷土に対する誇りや愛着を育むとともに、訪れる人々に地域の魅力を感じさせ、観光や人々の交流の促進に大きな役割を担っています。

そこで、県では、都市、農山漁村それぞれの特色を生かした、また空間的な広がりのある本県の個性豊かで良好な景観の形成に特に功績のあった方々を表彰することにより、県民の皆様の景観に対する関心と理解を深め、個性豊かで魅力あふれる景観の形成を推進するため、昨年度から「かごしま・人・まち・デザイン賞」を実施しています。

第2回となる今回は、景観づくり部門4件、都市デザイン部門4件を表彰いたしました。受賞された皆様に深く敬意を表します。

県としましては、今後とも、鹿児島らしい景観の形成に取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層の御理解・御協力をお願いいたします。

終わりに、審査に当たっていただいた委員の方々並びに本賞に御応募いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

委員長総括



審査委員会委員長
国吉 直行

第2回かごしま・人・まち・デザイン賞には、前回の応募総数を上回る65件の応募をいただきました。

景観づくり部門大賞に選ばれた「穎娃シーホーウォーク」では、これまで知られていなかった海岸線を歩行者空間のネットワークで結び、多くの人々が訪れ、個性豊かな自然を発見し楽しんでもらう、よい工夫となっていました。また、この他にも、県内各地で魅力的な景観を守り、育て、創るといった意欲的な活動が、時間をかけながら、様々な形で進められていることを再認識させていただきました。

都市デザイン部門では、大賞受賞の「薩摩藩英国留学生記念館」をはじめ、受賞施設には地域の歴史や文化を生かしたものや、自然と調和したデザイン、そして比較的小規模な施設に秀逸なものが多かった点が特徴でした。一方、現代的なデザインの施設は、今回受賞を逃しており、市街地における都市デザイン面の飛躍を期待したいと思います。

なお、審査委員会では、本表彰を長期的に継続し、県内各地の質の高い個人的な実践例を紹介し続けると共に、受賞者による対談等を行い、鹿児島らしい景観や都市デザインを生み出す取組も合わせて考えてほしいとの意見も出されました。今後も個性豊かで魅力あふれる鹿児島らしい景観や都市デザインを数多く県内外に発信できることを期待しています。

*都市デザイナー

1964年鹿児島県立鶴丸高校卒業。1971年早稲田大学建築学科大学院修士課程修了。同年、横浜市役所に入庁、都市デザインチームの設立に参加し、継続して都市デザイン室に所属。40年以上一貫して横浜市の都市デザイン行政に取り組み、現在の個性的な横浜の都市空間を形成してきた。

本表彰の目的

かごしま・人・まち・デザイン賞は県内の良好な景観の形成に特に功績のあった方々を表彰することにより、県民の皆様方の良好な景観に対する認識を高めていただき、個性豊かで魅力あふれる景観の形成を推進することを目的としています。

表彰対象

景観づくり部門

鹿児島県内において、次のいずれかに該当する景観で、その景観を守り、育て、また、新たに創出するための活動に取り組んでいる個人又は団体とします。

- (1) 歴史的風致の維持・向上により、周囲との調和が図られたもの
- (2) 地形や植生を活かすなど、自然環境との調和が図られたもの
- (3) その他、魅力的なまちなみなど、本表彰にふさわしいと認められるもの。ただし、都市デザイン部門に該当するものは除く。

都市デザイン部門

鹿児島県内において、おおむね5年以内に造られた次のいずれかに該当する施設（建築物、工作物、橋梁、公園又は道路等）又は施設の複合したもの等で、その施設等の所有者、設計者、施工者、その他計画に携わった者としてします。

- (1) 将来の鹿児島の模範となる都市景観やまちなみの創造に寄与しているもの
- (2) 美しくうるおいのある都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (3) かごしまらしい地形や自然を活かした都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (4) かごしまらしい歴史・文化を活かした都市景観やまちなみを形成し、又は調和しているもの
- (5) 環境や福祉への配慮等、優れた設計コンセプト等により都市の快適性を向上させているもの
- (6) その他、本県の良好な都市景観やまちなみの形成に寄与しているもの

賞

- ・大賞(各部門1件)……特に優れているもの
- ・優秀賞(各部門2件まで)……「大賞」に達しないものの、本県の景観の形成に寄与しているもの
- ・奨励賞(各部門1件)……「優秀賞」に達しないものの、奨励に値するもの



※1 応募数「景観づくり部門」…16件
「都市デザイン部門」…49件

※2 選考数「景観づくり部門」…8件
「都市デザイン部門」…9件

審査委員

- 石田尾 博 夫 ▶ 第一工業大学 教授 (芸術工学, 経済学)
- 梶 原 知 治 ▶ 鹿児島建築まちなみ研究所 所長
- 木 方 十 根 ▶ 鹿児島大学大学院 教授 (建築学専攻)
- 国 吉 直 行 ▶ 横浜市立大学 特別契約教授 (都市デザイン講座)
- 田 中 尚 人 ▶ 熊本大学政策創造研究教育センター 准教授
- 友 清 貴 和 ▶ 鹿児島大学 名誉教授 (建築計画, 地域計画)
- 浜 本 奈 鼓 ▶ 特定非営利活動法人くすの木自然館 代表理事
- 東 川 美 和 ▶ NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 事務局長 (五十音順, 敬称略)

大賞 『颯娃シーホークウォーク』



所在地 南九州市颯娃町別府

活動団体 特定非営利活動法人 颯娃おこそ会

概要

釜蓋神社と番所鼻自然公園を結ぶ番釜海岸は、10万年前に発生した溶岩流地帯と7つの小さな砂浜が交互に現れる変化に富んだ魅力的な自然景観を連ねているが、地元の釣り人しか訪れない知られざる場所であった。住民らの取組により、子供でも安心して楽しめるウォーキングコースとして生まれ変わり、県内外の方々を美しい景観でおもてなしできる場所となっている。

講評

全長約2.5kmのコースを一日かけてゆっくり回れば、朝夕で全く異なる魅力的な景観を見ることができ、国立公園級の雄大な海岸を肌で感じることができる。特定非営利活動法人颯娃おこそ会の活動が、地域にある宝を再発見し、まちづくりに大切な「若者」、「ばか者」、「よそ者」が寄って、1つのストーリーを作りあげた好事例といえる。また、訪れた方が気楽に挑戦できるコースを住民らの提案で作成している点や、地域の活性化に寄与している点も県内のモデル的な取組として高く評価できる。

今後とも、このような取組が県内各地ではじまり、鹿児島に点在する誇るべき景観が改めて認識され、県民共通の資産として守り、育てられることを期待したい。



優秀賞

『蒲生郷エリアの地域ブランディング』



所在地 始良市蒲生町麓

活動団体 特定非営利活動法人 Lab蒲生郷

概要

蒲生郷エリアは、県本土の中央部に位置し、特に日本一巨樹「蒲生のクス」をはじめ、美しい自然環境を背景に、県下でも数少ない薩摩古流の兵法に基づく町割りや武家門・石垣が残っている地域である。「今のままの蒲生」であり続けて欲しい」という基本コンセプトの下、住民らを中心とした取組が行われており、地域の歴史を踏まえた大型案内看板やサインにより、統一されたまち並みを創出している。

講評

県内に幾つかの麓集落はあるが、特定非営利活動法人Lab蒲生郷らの活動は、統一されたコーポレートアイデンティティ戦略の導入や古民家をカフェに活用した取組などが現代風かつユニークであり、麓集落全体の新たな方向性を示している。単なる武家門・石垣の保存や復元ではなく、このような“地域ブランディング”という優れた活動が、地域の声を集約した上で、持続的に展開されてきた点も高く評価される。

地域活力の衰退が全国各地で見受けられる中、これからも住民等との協働が促進され、この取組が地域おこしにつながる好事例となるよう期待する。

優秀賞

『阿権300年ガジュマルと石垣の小道』



所在地 大島郡伊仙町阿権

活動団体 阿権婦人会

概要

伊仙町阿権集落にある大木は「300年ガジュマル」とよばれ、集落住民から親しまれている。このガジュマルが根ざしているのは、徳之島最大規模の石垣であり、その景観は自然と歴史の重層性をより高めている。また、住民自ら集落を案内する“まちあるき”やカフェ、バザーなどを積極的に開催しているなど、地域資源を生かした地域活性化策が展開されている。

講評

樹齢300年の大木であるガジュマルと整然と積み上げられたサンゴ石垣があいまった景観は、南国特有の情景を醸し出している。阿権集落での取組は、活動規模が広範囲に及ぶにも関わらず、婦人会を中心に子どもからお年寄りまで地域ぐるみで維持管理に励んでおり、徳之島の新たな名所を生み出した。また、日常生活からは忘れがちな地域固有の景観を、“まちあるき”等の取組を行うことにより、地域住民に再認識させている点も評価したい。

歴史と自然の調和が味わえるこの景観が維持され、今後も、地域の宝として将来の世代に引き継がれることを願ってやまない。

奨励賞 『ひらかわ美術館』



※改装中



所在地 鹿児島市常盤一丁目 **活動者** 平川あさみ

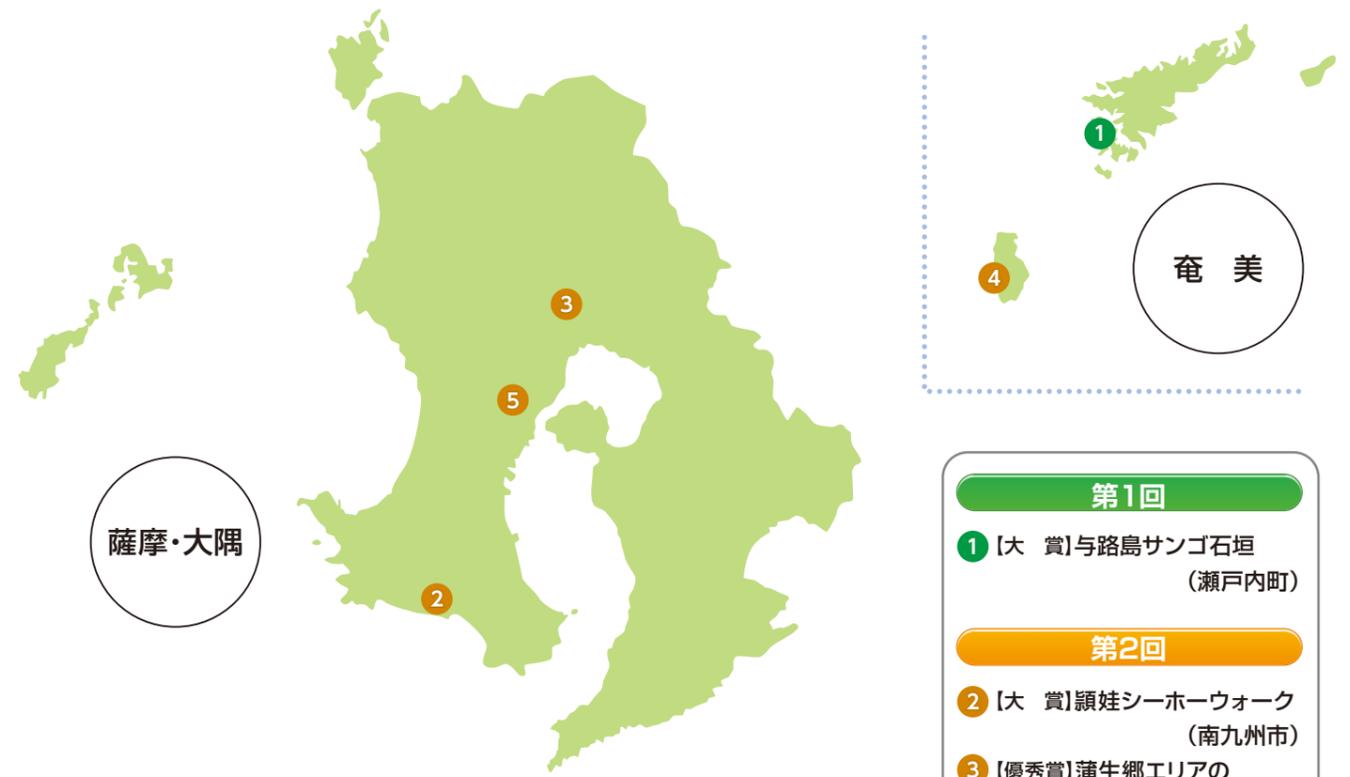
概要

鹿児島市常盤町の水上坂は、昔は参勤交代のルートとして、現代では妙円寺詣りのルートとして有名である。ひらかわ美術館は、その水上坂の中ほどに位置する。宅地開発が進む鹿児島市内にありながら自然を残した風光明媚な環境を守りつつ、また、築60年の古民家を再生した美術館とその庭園が美しい景観を形成している。

講評

歴史ある建築物と四季折々の植栽が織り成す景観は、訪れる者の目を楽しませ、縁側に佇み庭先を眺めれば、時間の流れを忘れさせてくれる。また、由緒ある表門から一歩外に出れば鹿児島のシンボルである桜島が望め、当時の息づかいが聞こえてくるようである。消失しかかっていた優れた建築物や庭園を保存・維持している市民の努力に敬意を表する。
都市開発の波に巻き込まれる中、このような景観を残していること、景観維持に係る課題を県下に提供していることを考えると、まさに奨励賞としてふさわしい。

受賞箇所一覧



審査について

景観づくり部門では、「景観を守り、育て、また、新たに創出するための『活動に取り組んでいる』個人又は団体」を表彰することとしている。
今回は、自薦・他薦を含め16件の応募があり、1次審査にて2次審査へ進む案件を8件に絞り込んだ。2次審査には表彰案件以外に、「入来麓伝統的建造物群保存地区」「くろしおアートプロジェクト」「須子茂集落の生け垣」「特色ある“学校緑化”」が選定された。
ともに、高い評価を受けたものの惜しくも表彰には至らなかったが、今後、益々の取組の推進に期待している。
また、応募のあった他の取組についても、引き続き、規模と内容の充実に向けていただき、地域の方々が愛着と誇りを持てる景観の創出に取り組み続けて欲しい。

- 第1回**
- 1【大賞】与路島サンゴ石垣 (瀬戸内町)
- 第2回**
- 2【大賞】顕娃シーホーウォーク (南九州市)
 - 3【優秀賞】蒲生郷エリアの地域ブランディング (始良市)
 - 4【優秀賞】阿権300年ガジュマルと石垣の小道(伊仙町)
 - 5【奨励賞】ひらかわ美術館 (鹿児島市)



須子茂集落の生け垣(瀬戸内町)



入来麓伝統的建造物群保存地区(薩摩川内市)



特色ある“学校緑化”(伊仙町)



くろしおアートプロジェクト(西之表市)



『薩摩藩英国留学生記念館』



所在地 いちき串木野市羽島

所有者・管理者等 いちき串木野市

設計者 (有)オフィスフィールドノート, (有)下舞建築設計事務所

施工者 川崎産業(株), (有)須納瀬設備工業所, (有)大興電設, (有)藤田設備工業所

その他計画に携わった者 れいめい羽島協議会

完成年度 平成25年度

概要

薩摩藩英国留学生記念館は、1865年に英国で最先端の技術などを学び、日本の近代化に尽力した薩摩藩英国留学生の船旅やその後の活躍について紹介し、彼らの功績を後世に伝える施設で、留学生たちが旅立った「出発の瀬」である羽島浦に臨む、風光明媚な海岸沿いに建築されている。

講評

本記念館の2階部分に、留学生たちが渡航の際に乗った洋式機帆船をモチーフにしたマスト付の展望デッキを設けるなど、羽島浦からの船出をイメージした外観で、歴史的な場所にふさわしい雰囲気を出している。

建物の外壁は、火山灰等を利用して焼き上げた風合いの異なる赤レンガを、白目地とイギリス積み方式で積み上げ、上品で表情豊かなものとなっている。また、屋根は、和瓦を白漆喰で固定し、鬼瓦や棧瓦には、館のシンボルである星形をあしらうなど、細部までこだわりを持って造られている。

赤レンガと和瓦白漆喰という外観は、周囲の自然景観や集落景観と調和した風情あるデザインで、地域の貴重な歴史をアピールし、伝える施設としての役割だけでなく、地域の観光・交流拠点となっていることなどが高く評価できる。



優秀賞

『にぎわい交流館 阿久根駅』



所在地 阿久根市栄町

所有者・管理者等 阿久根市, 肥薩おれんじ鉄道(株)

設計者 (株)ドーンデザイン研究所, (株)交建設計

施工者 阿久根建設(株)

完成年度 平成26年度

概要

にぎわい交流館阿久根駅は、多くの人々に愛された、思い出のある駅舎の外観を残しつつ、さらに良いものにリメイクするという方針のもとにデザインされたものである。

駅を利用する人々だけでなく、市民が気軽に集える場として活用できるように、ミニコンサートやギャラリーなど多目的に使える駅ホール(待合室)、カフェ、ミニ図書館、キッズコーナーなどが設けられている。

講評

外観は、旧駅舎のイメージを残しつつ、落ち着いた色とユニークなフォルムとなり、駅としての機能だけでなく、交流の場として地域のシンボルとなっている。また、夜間はライトアップされ、昼間とは異なる表情をみせている。

駅舎の内装には、木材がふんだんに使用され、親近性に富み、内部の仕上げや家具等も質の高いデザインで、従来の駅舎には見られない魅力的な空間を創出している。

阿久根市、おれんじ鉄道、市民が一体となって実現した建築物であり、単に通過する駅ではなく、「滞在する駅」として、まちの活性化に貢献するとともに、駅のあり方について一石を投じていることなどが評価できる。

優秀賞

『曾木の滝分水路』



所在地 伊佐市大口曾木

所有者・管理者等 国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所

設計者 熊本大学大学院自然科学研究科 教授 小林一郎, 准教授 星野裕司, 熊本大学空間情報デザイン研究室, 景観デザイン研究室, (株)東京建設コンサルタント

施工者 (株)有迫組, (株)田代組, (株)森山(清)組, こうかき建設(株), 林建設(株), (株)北原組

完成年度 平成22年度

概要

曾木の滝分水路は、平成18年7月に発生した鹿児島県北部豪雨によって、甚大な被害を被った川内川上流域の洪水被害を低減させるため、川内川激甚災害対策特別緊急事業により「曾木の滝」周辺に整備されたものである。

年間約30万人の観光客が訪れる曾木の滝や周辺景観との調和を図るため、「あたかも自然が創り出したかのような景観の創出」をコンセプトとして整備されたものである。

講評

曾木の滝分水路の整備においては、設計段階から学識経験者や地域住民代表などを含めた検討や、工夫を重ねた施工など、すべてのプロセスにおいて新しい試みを行っている。

人工的な形状や色にならないように検討され、周りの景観になじませるなど、きめ細やかさがあり、計画策定から施工に至るまで、地域の方々と一緒に、良いものを作ろうという一連の取組がとても貴重で素晴らしく評価できる。

なお、完成後、地域の方々と曾木の滝分水路の一般公開イベントを開催するなど、災害を忘れないための取組も始まっている。

奨励賞

『高塚避難小屋』



所在地	屋久島町宮之浦	所有者・管理者等	屋久島町
設計者	(株)坂茂建築設計	施工者	(株)ヒラウチ建設
その他計画に携わった者	赤津慎太郎(株)レモンガスかごしま代表取締役社長)		
完成年度	平成25年度		

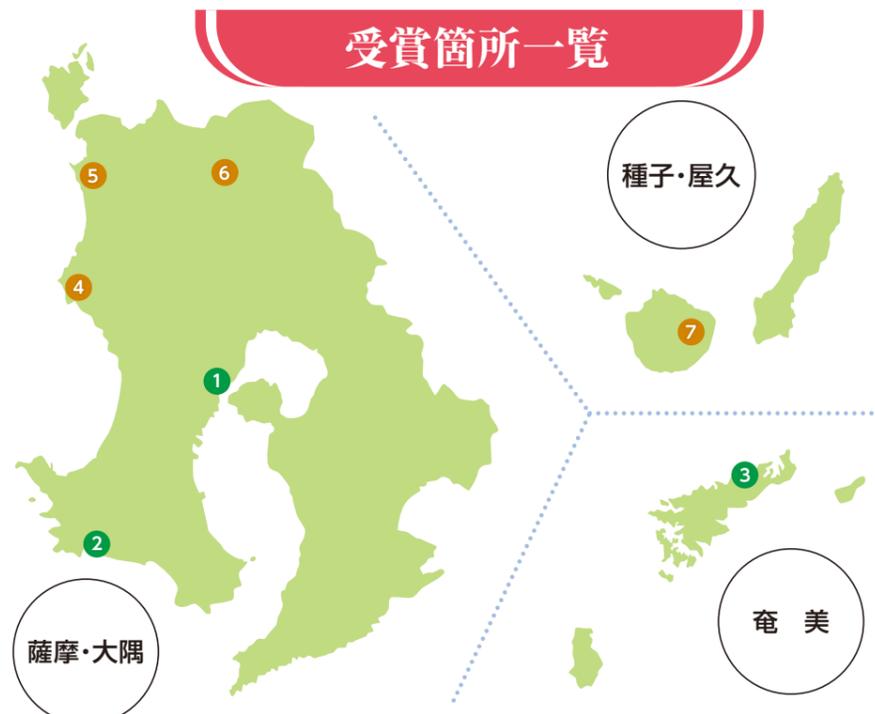
概要

高塚避難小屋は、世界自然遺産登録地域内にあり、「縄文杉」の近くに位置する避難小屋で、昭和45年に建設された旧施設の老朽化が進んでいたことから、赤津慎太郎氏(株)レモンガスかごしま代表取締役社長)の寄付により建て替えられたものである。

外壁には印刷用紙の芯などに使われるパイプ(紙管)を防水加工し、耐久性を確保した素材を使用しており、資材運搬が困難な山岳部での維持管理に適したつくりとなっている。

講評

公共施設でありながら、民間の寄付により建て替えられたことに加え、自然景観に配慮したシンプルなデザインであること、軽量の資材によりメンテナンスを容易にできるように考えられていることなどが、世界自然遺産の島、屋久島の環境にふさわしく、自然と調和しているという点で評価できる。



受賞箇所一覧

- | 第1回 | |
|---------|------------------------|
| 1 [大賞] | 甲突川リバーサイドウォーク事業 (鹿児島市) |
| 2 [優秀賞] | 枕崎駅舎 (枕崎市) |
| 3 [優秀賞] | 鹿児島県立奄美高校・奄美図書館 (奄美市) |
| 第2回 | |
| 4 [大賞] | 薩摩藩英国留学生記念館 (いちき串木野市) |
| 5 [優秀賞] | にぎわい交流館 阿久根駅 (阿久根市) |
| 6 [優秀賞] | 曾木の滝分水路 (伊佐市) |
| 7 [奨励賞] | 高塚避難小屋 (屋久島町) |

審査について

都市デザイン部門は、自薦・他薦を含め 49 件の応募があり、1次審査にて2次審査へ進む案件を9件に絞り込んだ。2次審査には表彰案件以外に、「霧島市横川総合支所」、「虎居地区堤防・推込分水路」、「黎明みなと大橋」、「かしんアイホールビル」、「奄美・沖縄フェリーターミナル」が選定された。

このうち、「霧島市横川総合支所」は、地域木材等の地場産材を活用している点が評価されたが、受賞には至らなかった。また、1次審査で選外となったものの中には、「石積みに咲く石の華」のように沿道景観の向上を目指すものや、「ガーデンハウス桜ヶ丘」や「サザンブルー鹿児島」のように福祉施設を中心としたまちなみ形成を目指すもの、「伊敷病院」や「厚地脳神経外科病院」、「さかき脳神経外科」など地域住民との交流の場となるような医療施設が出てきており、今後、地域と一体となった景観づくりによる周辺景観の変化が楽しみである。





鹿児島県

【発行者】

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

企画部地域政策課

TEL.099-286-2438 FAX.099-286-5529

土木部都市計画課

TEL.099-286-3678 FAX.099-286-5633

【発行】

平成27年2月

